

2026年度

枚方市立第四中学校
3年2学期シラバス集

学習進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3) ※高校による

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合もあります。

国語【3年2学期】

月	単元	到達目標
8 9	フロン規制の物語 — 〈杞憂〉とく転ばぬ先の杖〉のはざままで	・文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・フロンに対する筆者の主張を捉え、科学と社会との関係について自分の考えを広げる。
	「パブリックスピーキング」	・自分の考えがわかりやすく伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決める。
	和歌の世界 一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	・和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について評価する。 ・和歌が詠まれた背景を想像しながら情景や心情を読み取る。
10		
	課題作文	・条件に応じて表現を考えたり、資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。
	小説：初恋	氷原の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。 ・詩の形式を踏まえて音読し、描かれている思いを捉える。
11 12	情報を関係づける	・情報の信頼性の確かめ方を理解し、文章を読んで考えを広げ、自分の意見をもつ。 ・互いの発言を活かして話し合い、自分の考えを深める。
	論語	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について自分の意見をもつ。 ・文章を批判的に読みながら、筆者が述べる「分人」という考え方について考える。
	期末テスト(論説・小説・古文・漢字など) ・単元テスト・漢字テスト ・提出物 ・取り組みの様子 ・振り返りなど	

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	35%	定期テスト・小テスト等
② 思考・判断・表現	30%	定期テスト・小テスト・発表・作文・作品等
③ 主体的に学習に取り組む態度	35%	提出物・ノート・授業の取り組み等

社会【3年2学期】

社会 A

分野	月	大単元	小単元	到達目標
公 民	8	第2章 個人の尊重と 日本国憲法	1 人権と日本国憲法	・個人の尊重の考え方と法の意義に対する関心を高め、民主的な社会の在り方について、社会の形成者としての立場から考え、自分の意見を述べるができる。 ・個人の尊重の考え方や、社会生活における法の意義と憲法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理(国民主権・平和主義・基本的人権の尊重)、天皇の地位と国事行為について理解し、社会の形成者としての立場で意見を述べるができる。
	9		2 人権と共生社会	
			3 これからの人権保障	
	○テスト等:単元テストもしくはレポート(1回) ○提出物:予習プリント…3枚、ふりかえりシート…3枚、授業課題			
	10	第3章 現代の民主政治 と社会	1 現代の民主政治	・身近な生活と政治との関わりに関心を持ち、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の民主政治の課題について意欲的に追究することができる。 ・選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現できる。 ・多数決の原理とその運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、公民としての資質・能力の基礎を身に付け、社会の形成者としての立場で意見を述べるができる。
	11		2 国の政治の仕組み	
			3 地方自治と私たち	
	○テスト等:単元テストもしくはレポート(1回) ○提出物:予習プリント…3枚、ふりかえりシート…3枚、授業課題			
	12	第4章 私たちの 暮らしと経済	1 消費生活と市場経済	・消費者主権を理解し、身近な消費生活と契約からその原則や発生しうる消費者問題について、自立したより良い消費者となるために契約を結ぶ際にどのような点に注意すべきか、自分の考えを表現できる。 ・身近な経済的事象から、企業の生産活動・金融の働き・政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究することができる。 ・市場経済の仕組みに気づき、景気や物価変動が家計や企業に与える影響について考え、現代の諸課題の解決に向けて追究することができる。
			2 生産と労働	
			3 市場経済の仕組みと金融	
	○テスト等:単元テストもしくはレポート(1回) ○提出物:予習プリント…3枚、ふりかえりシート…3枚、授業課題			

社会 B

演習	8	演習(歴史)	16 近世社会の発展(66～69)	2年生の歴史分野で学習した内容(近世・近代)を振り返り、定着していない箇所や自分の苦手な分野に気づき、今後の学習の見通しを立てる。
	9		17 近代ヨーロッパと日本の開国(70～73)	
	18 近代日本の歩み(74～77)			
○テスト等:なし ○提出物:問題集・まとめノート(P.66～77)				
公民	9	第1章 現代社会と 私たちの生活	1 現代社会の特色と私たち	・現代社会を捉える見方や考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深める。 ・現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意・効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解する。
	2 私たちの生活と文化			
	3 現代社会の見方や考え方			
	10	○テスト等:単元レポート(1回) ○提出物:予習プリント…3枚 振り返り…3枚		
演習	10	演習(地理)	9 九州・週語句・四国地方(34～37)	2年生の地理分野で学習した内容(日本地理)を振り返り、定着していない箇所や自分の苦手な分野に気づき、今後の学習の見通しを立てる。
	10 近畿・中部地方(38～41)			
	11 関東・東北・北海道地方(42～45)			
	11	○テスト等:なし ○提出物:問題集・まとめノート(P.34～45)		

公民	12	第5章 地球社会と 私たち	1 国際社会の仕組み	・国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現し、発表や討論などを通して考えを深める。 ・国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりする。 ・世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解する。
	2 さまざまな国際問題			
	3 これからの地球社会と日本			
	1	○テスト等:単元テストもしくは単元レポート(1回)【範囲】 1～3まとめて ○提出物:予習プリント…1枚 振り返り…1枚		

※ 社会 A の授業進度によっては、探究活動などを社会 B で行うことがあります。

観点別学習状況の評価対象と内容		※ 社会 A・B を合算して成績を出します。
① 知識・技能	(約35%)	単元テスト・単元レポート・期末テスト・予習プリント・授業課題
② 思考・判断・表現	(約 30%)	単元テスト・単元レポート・期末テスト・振り返りシート・授業課題
③ 主体的に取り組む態度	(約 35%)	期末テスト・ノート・Weekly News・授業課題・問題集
合計 約 400点		・授業に取り組む姿勢

数学【3年2学期】

月	教材の種類・単元	到達目標
8	3 章 二次方程式 ・二次方程式の利用	・二次方程式を具体的な場面で活用することができる。 ・単元テスト(知・技)(思・判・表)・単元レポート(思・判・表)・夏休みの宿題(主体) ・章の確認テスト(知・技)(思・判・表)
9	4 章 関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ とグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化	・関数 $y = ax^2$ について理解することができる。 ・事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えられるものがあることを理解することができる。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解できる。 ・関数 $y = ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現できる。
		・単元テスト(知・技)(思・判・表)
	・いろいろな事象と関数の利用	・関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現できる。
		・単元テスト(思考・判断・表現)・単元レポート(思・判・表) ・章の確認テスト(知・技)(思・判・表)
10	5 章 図形と相似 ・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量	・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解ができる。 ・基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解できる。 ・三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。
11		・単元テスト(知・技)(思・判・表)
	・相似の利用	・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。
		・単元テスト(思考・判断・表現)・単元レポート(思・判・表) ・章の確認テスト(知・技)(思・判・表)
12	6 章 円の性質 ・円周角と中心角 ・円の性質の利用	・円周角と中心角の関係の意味を理解することができる。 ・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。
		・単元テスト(思考・判断・表現)・単元レポート(思・判・表) ・章の確認テスト(知・技)(思・判・表)

① 知識・技能	33%	授業プリント、単元テスト、レポート、章の確認テスト、定期テストなど
② 思考・判断・表現	33%	授業プリント、単元テスト、レポート、章の確認テスト、定期テストなど
③ 主体的に学習に取り組む態度	34%	ワーク、自分でまとめるプリント、テスト解きなおし、授業の取り組みなど

理科【3年2学期】

		教材種類・単元名	到達目標
理 科 A	8月	運動とエネルギー 1. 力の合成と分解 2. 物体の運動	・水圧についての実験を行い、その結果を水の重さと関連づけて理解し、水中に物体には浮力が働くことを理解する。 ・つり合っている2力の1つが与えられたとき、もう1つの力を発見することができる。
	9月		・「合力と力の合成」・「分力と力の分解」について理解し、「力の平行四辺形の法則」を実験によって見出すことができる。定規を用いて作図ができる。 ・速さの求め方を理解し、速さには平均の速さと瞬間の速さがあることを理解する。 ・記録タイマーの使い方やテープの処理のしかたを習得し、斜面を下りる台車の運動を通して力と運動の関係を理解する。 ・力がはたらかないときには等速直線運動することや慣性の法則、物体がもっている慣性について理解する。
	10月	【単元テスト③】 範囲：1章 力の合成と分解 提出物：理科の完全学習 【単元テスト④】 範囲：2章 物体の運動 提出物：理科の完全学習	
	11月	運動とエネルギー 3. 仕事とエネルギー 4. 多様なエネルギーとその移り変わり	・仕事や仕事率について求め方と単位を理解することができる。 ・運動エネルギーと位置エネルギーは互いに移り変わることを理解し、摩擦や空気抵抗がなければ力学的エネルギーの総量は保存されることを理解する。
	12月		
		【単元テスト⑤】 範囲：3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 【期末テスト】 範囲：エネルギー分野1～4章、2年生の範囲 提出物：理科の完全学習、3年間の総まとめ問題集、授業ノート	
理 科 B	8月	化学変化とイオン 3. 酸・アルカリと塩	・酸・アルカリの水溶液の実験を行う中で、水溶液の性質を理解し、酸性・アルカリ性の共通点を見出す。 ・中和反応の実験を行うことで、中和が起こり水と塩ができることを理解する。また、中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。
	9月		
	10月	単元テスト 範囲：酸・アルカリと塩 提出物：理科の完全学習、授業ノート	
	11月	宇宙を観る 1. 宇宙の天体 2. 太陽と恒星の動き 3. 月と金星の動きと見え方	・太陽の観察を行い、動きや太陽の特徴について理解する。 ・地球の自転と公転、および地球の特徴について理解する。 ・惑星や惑星以外の太陽のまわりをまわる天体の特徴を理解することができる。 ・太陽の1日の動きを観測し、それを天球上に表わせることを理解する。 ・地軸の傾きによって、太陽の南中高度や昼間の長さの変化が起こり、季節変化が生じることを理解することができる。 ・恒星の日周運動と年周運動を観測し、それを天球上に表わせることを理解する。
	12月		・太陽の1年の動きを考えることで、星座の移り変わりを理解する。 ・月の公転と見え方を関連付けて理解する。 ・金星の公転と見え方について関連付けて理解する。
		自然と人間	・植物、動物及び微生物を栄養摂取の面から相互に関連付けて理解すると

		1. 自然界のつり合い	もに、自然界においてはこれら生物がつりあいをためて生活していることを見出し、理解する。
		期末テスト 範囲:酸・アルカリと塩、宇宙の天体、太陽と恒星の動き、月と金星の動きと見え方 提出物:理科の完全学習、授業ノート	

観点別学習状況の評価対象と内容			
①	知識・技能	約 33%	単元テスト、期末テスト、授業プリント等
②	思考・判断・表現	約 33%	単元テスト、期末テスト、授業プリント等
③	主体的に学習に取り組む態度	約 33%	授業プリント、提出物、授業での取り組み等

英語【3年2学期】

	単元	到達目標
8月 9月	Lesson 4 Bollywood Movies	・後置修飾(動詞の-ing形や過去分詞)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを 含む文を聞いたり、読んだりして、内容をとらえることができる。 ・後置修飾(動詞の-ing形や過去分詞)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを 含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・<be glad to…>の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容をとらえるこ とができる。 ・<be glad to…>の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正 確に書いたりすることができる。 ・意見を投稿するために、与えられたテーマについて書かれた投稿を読み、読んだこと に基づき引用するなどして、事実や自分の考えなどを、簡単な語句や分を用いて書くこ とができる。 ・「手伝いを申し出る」「提案する」「状況を説明する」表現の意味や働きを理解し、それ を含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
単元テスト1回 Reading2回 ノート		
10月	Lesson5 Translating Culture	・関係代名詞 that,which, who(主格)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それ を含む文を聞いたり、読んだりして、内容をとらえることができる。 ・関係代名詞 that,which, who(主格)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それ を含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・<want+人+to+動詞の原形>の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内 容を捉えることができる。 ・<want+人+to+動詞の原形>の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え 合ったり、正確に書いたりすることができる。 ・海外の人に読んでもらうために、4コマ漫画について、日本の文化や習慣が伝わるよ うな説明をつけ加えて、翻訳することができる。 ・「理由や条件を提示する」「許可を求める」「依頼する」「承諾する」「断る」表現の意 味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
単元テスト1回 Reading2回 ノート		
11月 12月	Lesson6 Being Fair	・関係代名詞 that,which, who(目的格)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それ を含む文を聞いたり、読んだりして、内容をとらえることができる。 ・関係代名詞 that,which, who(目的格)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それ を含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・後置修飾(名詞を修飾する文)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文 を聞いたり、読んだりして、内容をとらえることができる。 ・後置修飾(名詞を修飾する)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を 用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・筆者が伝えたいことをまとめるために、(考えとその具体例に着目し、)公平について 書かれた記事を読んで、要点を捉えることができる。
単元テスト1回 Reading2回 ノート		

観点別学習状況の評価対象と内容			
④	知識・技能	約 35%	単元テスト、期末テスト
⑤	思考・判断・表現	約 30%	単元テスト、期末テスト、パフォーマンステスト等
⑥	主体的に学習に取り組む態度	約 35%	授業での取り組み(ペアワーク活動・コミュニケーション活動等を含む)、提出物(ワーク・ノート・プリント)等、Reading6回

音楽【3年2学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう(8月～)	・パートの役割と全体の響きとの関わりを理解し、音色や強弱を工夫して合わせて歌うことができる。
器楽	LESSON3〈高い音、＃や♭の付く音〉(8月～)	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫し、思いや意図をもって演奏することができる。
創作	歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう(11月～)	・歌詞の抑揚を生かしてハ長調の旋律をつくり、歌詞の内容が伝わるように速度や強弱、楽器の音色を工夫することができる。
鑑賞	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。(10月)	・各楽器の音色や役割、旋律の特徴などに気を付けながら、雅楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	曲のよさをプレゼンテーションしよう(12月)	・その曲の特徴や感じ取ったことと曲のよさを聴き手が理解できるように伝えることができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	小テスト・実技テスト(歌テスト、リコーダーテスト)・プレゼンテーション
思考・判断・表現(35%)	実技テスト(歌テスト、リコーダーテスト)・ワークシート・プレゼンテーション
主体的に学習に取り組む態度(30%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

保健体育【3年 2 学期】

保 健 体 育	単元	到達目標	
	・水泳 8月～9月上旬	・手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	
	・陸上競技(走高跳) 9月中旬～10月中旬	・リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空中動作で跳ぶことができる。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたこと他者に伝えることができる。	
	・バレーボール 10月下旬～11月下旬	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	
	・保健 (健康な生活と病気の予防) (健康と環境) 2学期中に順次実施	感染症の予防、個人の健康を守る社会の取り組みについて理解する。	
通知票の観点別学習状況の評価対象と内容		① 知識・技能 約48% ②思考・判断・表現 約26% ② 主体的に学習に取り組む態度 約26% 計100%	技能テスト、小テスト 思考判断シート、小テスト リフレクションシート等 授業の取り組み、提出状況等

美術【3年2学期】

月	分野	単元	到達目標
8 月	絵画	イメージを形にすると (砂絵)	形や色彩、その組み合わせに着目してイメージをとらえ、材料を生かして表現できる。
			感覚や感情のイメージをもとに、形や色彩・構成などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞することができる。
			感じたことや感情などを形や色彩で表すことに興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。
9～10 月	デザイン	魅力を伝えるパッケージ (〇〇さんへの贈り物)	制作の順序や材料などを総合的に考え、見通しを持って表現することができる。
			贈る者に伝える意図が分かるよう、形体や装飾の構想を練ることができ、鑑賞できる。
			様々な視点を生かして作品の造形的な美しさなどに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
11～12 月	課題探求	芸術はみんなのもの (自由研究)	表現したい方法を模索し、その表現方法の意図や効果などを捉え特性を生かし、見通しを持って表すことができる。
			テーマに沿ってコンセプトを考え、表現するために思いや考えを巡らせて、構想を練ったり鑑賞したりできる。
			様々な視点から課題を捉えて意欲的に自分らしい生き方を見つめ、自己表現することができる。
観点別学習状況の評価対象と内容(合計:300 点)			
知識・技能 (30%、90 点)			作品等
思考力・表現力・判断力 (40%、120 点)			計画表、インタビューシート、鑑賞シート、自己評価表等
主体的に取り組む態度 (30%、90 点)			授業の取り組み(提出物)、F シート等

技術家庭【3年 2 学期】

技術分野			
月	分野	単元	到達目標
9	(技術分野) エネルギー変換に関する技術	電気エネルギーの安全な利用	電気機器の仕組みや安全な利用方法について理解する。
10		コンセントタップの製作	工具を適切に使用し、安全にコンセントタップを製作することができる。
11 12		ラジオの製作	電気回路の仕組みを理解し、適切な手順でラジオを製作することができる。
家庭分野			
月	分野	単元	到達目標
9 10 11 12	家族・家庭と子どもの成長	幼児の生活と遊び	幼児の生活の特徴を知り、家族の役割について理解する。 幼児の遊びの意義を知り、安全に留意したおもちゃを製作することができる。
		幼児とのふれ合い	幼児と楽しくかかわるための工夫を考える。
点別学習状況の評価対象と内容 以下の①②③を均等の割合で評価します			
② 知識・技能		(30%、90 点)	提出物・定期テスト・実習製作品 定期テスト・提出物・実習製作品 授業の取り組み(意欲・提出物など)
②思考・判断・表現		(40%、120 点)	
③主体的に学習に取り組む態度		(30%、90 点)	